

く一致する (4) 以上によって測定器の軸Dはシリンドラ中心線と直角の位置となるから、図-6のようにパスで左右主台わく側面に寸法をとり、台わく頂面から直角定規で垂線o', o''を下げれば、これが軸箱守加修の基礎となる。(海沼武彦)

たいわんのてつどう 台湾の鉄道 台湾巡撫劉銘伝が清廷の勅許をえて1887・4基隆・台北間に鉄道を敷設したのが、台湾における鉄道の初めである。この鉄道は1891年開通、さらに1888年台北・新竹間の工事を開始し、1893年これを完成し、基隆・新竹間107.7kmを開通した。劉はまた新竹・台南間鉄道の建設を計画したが、劉の転任や財政上の理由のため実現することができなかった。日清戦争の結果、台湾は澎湖諸島とともに1895年わが国の領有するところとなり、その鉄道は、わが国の鉄道として台湾総督府交通局の経営するところとなった。

わが国は、台湾領有以来、統治上の必要と経済の発展をはかるため、鋭意鉄道の建設に努めたので、今日台湾に見られる鉄道(基隆・新竹間を除く)は、ほとんどこの日本統治期間中に建設されたものである。しかるにわが国が、太平洋戦争において敗北を喫したため、1945・8・15台湾は日本の領有を離れ、鉄道もまた中国政府に接収され、国有鉄道は台湾省政府交通処台湾鉄路管理局に、また製糖会社の敷設した私設鉄道は台湾糖業会社に、総督府営林所の所管していた森林鉄道は台湾林産管理局に接収され、それぞれ経営されるに至った。

西部線

幹線	縦貫線	基隆—高雄	408.5 km (軌間 3'6")
支線	台中線	竹南—彰化	91.4 "
	宜蘭線	八堵—蘇澳	98.7 "
	屏東線	高雄—枋寮	71.8 "
	集集線	二水—外車埕	29.7 "
	淡水線	台北—淡水	23.6 "
	内湾線	新竹—内湾	28.7 "
	新店線	万華—新店	10.4 "
	平溪線	三貂嶺—菁桐坑	12.9 "
計			775.7

東部線

幹線	台東線	花蓮港—台東	175.9 km (軌間 2'6")
合計			951.6

1 建設

日本統治時代

区 間	キロ程 km	建設時期		備 考
		起 工	開 通	
新竹・高雄港	299.16	1899	1908	複線
台北・淡水	21.16	1900	1901	
高雄港・九曲堂	17.42		1907	
花蓮港・玉里	87.27	1910	1917	
九曲堂・屏東	7.22	1911	1914	
基隆・台北	28.62	1912	1919	
屏東・潮州	22.34	1917	1923	
八堵・蘇澳	94.96	"	1924	
竹南・王田	85.99	1919	1922	
玉里・関山	41.45	1921	1926	
台東・関山	42.01	1922	1922	
二水・外車埕	29.07	1927	1927	
台北・竹南	97.2	1927	1935	
台南・高雄港	46.7	1927	1935	
三貂嶺・菁桐坑	12.92		1927	
潮州・枋寮	18.0	1937	1941	

社 辺・東 港	6.18	1937	1940	複 線
田 町・高 雄	6.87	1937	1942	
高 雄・九曲堂	13.74	1937	1942	
民 雄・嘉 義	9.24	1938	1942	
台 南・新 市	11.43	1939	1943	
花蓮港・東花蓮港	4.04	1938	1939	

以上のほか、製糖・農林・拓殖等の会社において敷設した私設鉄道が、終戦当時3,024.2kmあった。

中国統治時代

区 間	キロ程 km	建設時期		備 考
		起 工	開 通	
基隆・新竹	107.7	1886	1893	
新竹・内湾	28.7	1947	1951	

2 施設概要

(1) 線 路

線	営業キロ			延長キロ		
	単線 km	複線 km	3線 km	本線 km	側線 km	計 km
西部	571.0	201.0	3.7	775.7	979.9	498.8
東部	175.9			175.9	51.2	227.1
計	746.9	201.0	3.7	951.6	1,155.8	1,705.8

最急勾配 2.5% 最小曲線半径 300m

軌条重量

西部線 30~45kg 東部線 12~30kg

(2) 橋りょう

線	20m 以上		20m 以下	
	数	延長 m	数	延長 m
幹線	131	18,306	526	3,874
支線	61	6,793	277	1,914
東部線	43	5,066	87	622
計	235	30,165	890	6,410

(3) ずい道

線	数 延長		数 延長	
	数	延長 m	数	延長 m
幹線	複線	6 1,129	東部線	1 1,116
	単線	18 6,843		計
支線	複線	1 554		
	単線	36 9,414		

3 車両(1953)

	機関車	客車	貨車	ガソリン車
西部	231	479	4,927	19
東部	26	49	526	10
計	257	528	5,453	29

4 輸送量

(1) 旅客

年 度	旅客輸送人員 人	旅客輸送人キロ 人キロ	旅客列車キロ km
1945	41,641,753	1,680,621,052	3,066,177
1946	44,940,926	1,584,219,040	3,085,751
1947	47,576,354	1,718,818,885	3,921,677
1948	58,651,954	1,996,736,133	4,536,781
1949	69,759,966	2,445,167,614	5,851,055
1950	69,388,711	2,107,569,682	6,402,401
1951	73,521,796	1,989,611,454	6,754,459
1952	64,937,632	1,749,772,382	7,384,324
1953	66,023,929	1,879,726,469	7,764,264